大分合同新聞（朝刊）
2018年（平成30年）1月3日　水曜日

研究一筋、知見を後進に伝える

玄真堂 理事長
川嶌 眞人氏

「水滴は岩をも穿つ」の精神で、1972年から潜水病と骨壊死の研究を一筋に続けてきた。

骨・関節感染症や難治性潰瘍などの治療に使われる「高気圧酸素治療装置」、主に骨髄炎の治療に用いられる「川嶌式局所持続洗浄療法」は、現在多くの国で治療に使われている。

中国への医療技術支援は25年を越えた。北京昌平聖斉骨傷病院（王興義理事長）と連携し、現地でも治療を受けられる病床が増えつつある。昨年はアジア太平洋潜水・高気圧環境医学会の理事長に就任。2年後には中津市で同学会が開かれることが決まった。

国際潜水・高気圧環境医学会（UHMS）の「眞野／川嶌　ヤングサイエンティスト賞」で、昨年もプレゼンターを務めた。若手研究者の成長を温かく見守る。「一つの研究を続けることでさまざまな領域の人とつながり、交流・協力が生まれました。これまでコツコツやってきたことが、不思議と実を結びつつある」と感じている。

人材育成にも情熱を注ぐ。「職員に医療人としての哲学（フィロソフィー）を共有していきたい」と、積み重ねてきた知見を後進に伝えている。川嶌整形外科病院とかわしまクリニックの職員が研修用に作成した冊子「かわしまフィロソフィー」には、「一隅を照らし一隅に輝く」「苦楽吉祥」などこれまで説いてきた言葉が詰まっている。歴史を学び新しいことを創造する「温故創新」が職員にも息づいていることをうれしく感じている。

出会いに導かれるように、中津で医療の道を歩んできた。「中津から世界へ羽ばたいた偉人の歩みに、自分も国際水準の仕事ができるのではないかと力をもらった」と振り返る。

今の思いを西郷隆盛の「敬天愛人」の言葉に託す。「道を誤らず、人を愛することが医療の原点。専門に徹しながらも専門を越えて、世の中の人のためになることをしよう」。これからも次代へ力強いエールを送る。

歴史を知り現代の医療につなげる

病院DATA

●診療科目
整形外科・リハビリテーション科
リウマチ科・放射線科・脳神経外科

●診療時間
月～金／9:00～17:30
土／9:00～12:00

●休診日
日曜、祝日、年末年始（12月30日～1月3日）

社会医療法人 玄真堂
川嶌整形外科病院
中津市宮夫17
TEL0979-24-0464
http://kawashimahp.jp